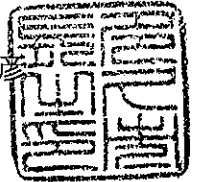




多市建 288 号
平成 19 年 5 月 11 日

国土交通省道路局長 様

佐賀県多久市長 横尾 俊彦



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

①重点化を進める上で特に優先度の高い政策

わが国の競争力、成長の確保や地域の活性化のため必要な道路整備を計画的に進めることは、引き続き重要である。

特に、地域格差への対応や生活者重視の視点を踏まえつつ、地方の活性化や自立に必要な地域への機関道路の整備や渋滞解消のためのバイパス整備、高速道路や高次医療施設への広域的アクセスの強化など、地域の自主性にも配慮しながら、適切な政策を要望します。

- ・ 道路交通の円滑化
都市間の大動脈的機関道路の整備、集中的にスピード感をもった道路行政への転換。
- ・ 都市と地域の活性化
沿道地域との一体整備など他分野との積極的な連帯。
- ・ 供用中道路の安全・安心の確保
少子高齢化・人口減により、地方が深刻な状況であり地域社会を支えるための交流基盤が必要。
- ・ 供用中道路の維持・修繕・更新
自治体管理橋において、長寿命化及び修繕・架け替えに係る費用の縮減を促進する政策転換を図るため、長寿命化修繕計画の策定を支援。

②効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

今後の道路政策においては、コストを減らし、無駄を排するなどの効率化が求められる。

- ・ 調達方法の改善、新技術の開発など、一層のコスト縮減を徹底する必要がある。
- ・ 集中的にスピード感をもった道路行政への転換が必要である。
- ・ 地域の文化や景観などを踏まえ、地域の実状、ニーズに即した道路整備と合わせ、規格・構造に創意工夫を凝らす。

- ・ 各個別事業の投資判断に当っては、厳格な事業評価を徹底することとし、より多様な便益要素を評価対象に取り入れ、的確な分析が必要である。

③その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

地域間の格差が広く認識されつつある中、「地域の活力なくして国の活力なし」との基本認識に立ち、地域の活性化のためには道路を中心とするインフラ整備は必要不可欠であります。

道路に関する意見

「この職責にあって、全国から要望や陳情に見えるが、その中で最多なのは道路整備に関するものだ。ざっと全体の7割程度という感じをもっている」。これは政府与党三役にお目にかかった時の、ある人物のコメントだった。このように道路行政の重要性は全国からの整備要望に表現されているといっても過言ではない。

一般に、公共交通網が整備され、マスコミの本社機能も集中する首都圏の人々から見れば、「道路はもう要らない」との印象が強いようである。しかし、本当にそうだろうか。

○暮らしと道路 ～ 都会では、人は鉄道やバスなどで移動できるし、運行頻度も毎時間帯に相当数に及ぶ。それだけ便利である。一方、地方では通勤通学や買い物、医療機関への通院にしても公共交通機関がないところはほとんどが車に依存している。だから、いわゆる地方においては、車がないと生活に支障が出るのである。それだけに快適で安全な生活道路の整備を含む、主要道路の整備は不可欠のインフラといえる。

○ゆたかさを支える道路 ～ 都会では、たとえば所狭しの勢いでコンビニが並ぶ。そこにならぶ商品は、まさに全国から取り寄せられている。デパ地下の飲食品売り場にならぶ旬の商品も同様に、全国各地の産地から集められている。これらの物品が豊富で多彩だけに、便利さは増し、なんでも手に入ると錯覚もしがちだ。でもこれらの物は、実はそのほとんどを道路ネットワークの恩恵を受けて、たとえば首都圏へと流入し、消費者に届けられていることを忘れてはならないだろう。道路が整備されていなければ、現代を象徴するコンビニショップの隆盛もないはずだ。

○生命を守る道路 ～ 道路は生命を守る機能も有する。専門家の調査によれば、心肺停止から絶命までの猶予時間は3～10分であり、特に心肺停止状況では3～5分が勝負だ。それまでに救急車の到着や、近隣者による人工呼吸などの蘇生処置が施されなければ人の生命は絶たれる。それを救う意味でも、救急救命を支える救急車両の到着に遅滞はあってならない。そのためスムーズに交通でき、安全・高速での移動を可能とする道路は、いわば

生命を守りつなぐ道ともいえるものである。

これらのことは今までも再々述べられてきている。けれども、仮に情報提供が大都市部に住む人々を対象とすることに偏重すれば（その方が選挙でも有利になりがちと思われるが）、「道路は不要、他に予算を」と傾きがちになる。果たしてそれが妥当だろうか。

地方には、暮らしのみならず、多自然型の地域を保全する役割を担う人々がいる。もしも、金銭感覚のみの経済合理性だけでは、均衡ある国土の有効利用にはならず、それ以前の国土保全も厳しくなる。是非道路整備の重要性が正当に認識されることを希望する。